



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月26日

上場会社名 株式会社 エスティック
 コード番号 6161 URL <http://www.estic.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 2020年11月2日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 鈴木 弘英
 (氏名) 伊勢嶋 勇
 TEL 06-6993-8855

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年3月21日～2020年9月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	2,562	36.1	453	62.4	445	61.8	295	62.7
2020年3月期第2四半期	4,008	17.1	1,206	19.1	1,166	12.6	792	19.6

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 310百万円 (61.4%) 2020年3月期第2四半期 802百万円 (24.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	119.26	
2020年3月期第2四半期	295.12	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	6,982	6,095	86.4
2020年3月期	7,145	6,025	83.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 6,035百万円 2020年3月期 5,977百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		97.00	97.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				42.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年3月21日～2021年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,820	28.8	770	56.6	764	56.4	504	57.8	203.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	2,942,000 株	2020年3月期	2,942,000 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	463,019 株	2020年3月期	463,019 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	2,478,981 株	2020年3月期2Q	2,684,744 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会について)

当社は、新型コロナウイルス感染症の拡大している状況を考慮し、決算説明会の開催を中止といたします。当日使用を予定しておりました決算補足説明資料につきましては、当社ホームページで掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 国内市場

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症が世界中に蔓延するなか、緊急事態宣言も解除され一部では経済活動優先の動きもあり、第1四半期と比較すると徐々に経済活動が活発化し始めてきた状況となりました。しかし新型コロナウイルス感染症の第2波、第3波の兆候も見られ未だ収束の兆しが見られない状況にあり、また海外渡航制限も一部を除き継続しており事業活動は未だ大きな影響を受けている状況にあります。

そのような状況のなか当社主力販売先である自動車産業における設備投資の状況につきましては、多くの客先で実施されていた訪問制限、接触制限も徐々に解除され、客先とのコンタクトが段階的に取れる状況となって参りました。ただし多くの客先では新型コロナウイルス感染症の影響を勘案した設備投資計画の見直し過程にあり、未だ市場環境は先行き不透明感が強い状況にあります。

② 米国市場

新型コロナウイルス感染症の影響により企業収益が大きく減少し、設備投資も大幅に減少している状況は、未だ改善の兆しは顕著に見られない状況にあります。しかしコロナ禍前の当初計画の継続案件も多数あり、新型コロナウイルス感染症の収束状況により年初のような好調な状況に急速に回復する可能性も期待でき、今後回復状況を注視して参ります。

③ 中国市場

新型コロナウイルス感染症の影響により企業収益が大きく減少し、設備投資も大幅に減少しております。しかし5月以降経済活動は徐々に回復してきており、今後内需の回復度合いにより自動車産業の設備投資の回復状況を注視して参ります。

④ その他の市場

全地域において新型コロナウイルス感染症の影響により企業収益が大きく減少し、設備投資も大幅に減少している状況は未だ改善の兆しは顕著に見られない状況にあります。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上状況は、上記の市場環境により全品種とも前年比減収となり売上高2,562百万円(前年同四半期比36.1%減)となりました。

利益状況は、従業員の新規増員抑制や経費削減等による固定費削減を実施しましたが、売上高が大幅に減少したことにより固定費比率が上昇した結果、営業利益453百万円(前年同四半期比62.4%減)、売上高営業利益率17.7%(前年同四半期は30.1%)、経常利益445百万円(前年同四半期比61.8%減)、売上高経常利益率17.4%(前年同四半期は29.1%)、親会社株主に帰属する四半期純利益295百万円(前年同四半期比62.7%減)となりました。

地域別売上においては、年初北米、タイが好調に推移した事などから海外売上比率が上昇し、海外売上高1,503百万円(前年同四半期比11.5%減)、国内売上高1,058百万円(前年同四半期比54.2%減)、売上全体に占める海外売上比率は58.7%(前年同四半期は42.4%)、国内売上比率は41.3%(前年同四半期は57.6%)となりました。

なお、当社製品は、ネジ締付装置、同部品及びネジ締付工具でありますので、単一セグメントとして市場環境を判断しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は、6,982百万円と前連結会計年度末比163百万円の減少となりました。増減の主な内訳は、原材料が143百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が306百万円減少したためであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、887百万円と前連結会計年度末比233百万円の減少となりました。増減の主な内訳は、未払法人税等が168百万円減少したためであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、6,095百万円と前連結会計年度末比69百万円の増加となりました。増減の主な内訳は、利益剰余金が55百万円増加したためであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、562百万円となり、前連結会計年度末に比べて57百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フロー別の状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは293百万円の収入(前年同四半期は888百万円の収入)となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益445百万円、売上債権の減少額239百万円などの増加要因があった一方、たな卸資産の増加額105百万円、未払金の減少額108百万円、法人税等の支払額250百万円などの減少要因があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは9百万円の収入(前年同四半期は469百万円の支出)となりました。

これは主に、定期預金の払戻による収入60百万円などの増加要因があった一方、定期預金の預入による支出20百万円、有形固定資産の取得による支出17百万円などの減少要因があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは241百万円の支出(前年同四半期は896百万円の支出)となりました。

これは主に、配当金の支払額240百万円などの減少要因があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期連結業績予想に関する事項につきましては、2020年10月26日付の「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」において公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	544,878	562,806
受取手形及び売掛金	1,775,158	1,468,915
電子記録債権	338,009	398,434
商品及び製品	443,131	435,974
仕掛品	332,438	299,912
原材料	1,107,068	1,250,670
未収消費税等	249	9,503
その他	88,811	132,449
貸倒引当金	△2,148	△1,917
流動資産合計	4,627,597	4,556,749
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	853,881	831,354
土地	830,106	830,106
その他(純額)	189,794	164,725
有形固定資産合計	1,873,781	1,826,186
無形固定資産		
投資その他の資産	42,781	44,425
繰延税金資産	189,705	136,819
その他	412,767	418,869
貸倒引当金	△800	△800
投資その他の資産合計	601,672	554,888
固定資産合計	2,518,236	2,425,500
資産合計	7,145,833	6,982,250

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	191,026	234,492
未払法人税等	269,173	100,833
賞与引当金	61,712	65,000
役員賞与引当金	—	15,006
製品保証引当金	55,000	44,000
その他	319,923	191,432
流動負債合計	896,835	650,765
固定負債		
退職給付に係る負債	210,636	225,858
その他	13,145	10,591
固定負債合計	223,781	236,449
負債合計	1,120,617	887,215
純資産の部		
株主資本		
資本金	557,000	557,000
資本剰余金	639,750	639,750
利益剰余金	6,226,446	6,281,632
自己株式	△1,461,410	△1,461,410
株主資本合計	5,961,785	6,016,972
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,236	36,335
為替換算調整勘定	△5,081	△17,849
その他の包括利益累計額合計	16,154	18,486
非支配株主持分	47,275	59,576
純資産合計	6,025,215	6,095,034
負債純資産合計	7,145,833	6,982,250

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月21日 至 2019年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年9月20日)
売上高	4,008,982	2,562,377
売上原価	2,159,475	1,472,509
売上総利益	1,849,507	1,089,867
販売費及び一般管理費	642,680	636,701
営業利益	1,206,827	453,165
営業外収益		
受取利息	88	70
受取配当金	2,678	2,735
その他	818	838
営業外収益合計	3,585	3,645
営業外費用		
為替差損	12,948	19
自己株式取得費用	19,327	—
持分法による投資損失	11,314	11,617
その他	378	22
営業外費用合計	43,970	11,659
経常利益	1,166,442	445,150
税金等調整前四半期純利益	1,166,442	445,150
法人税、住民税及び事業税	338,816	89,187
法人税等調整額	22,385	46,314
法人税等合計	361,202	135,502
四半期純利益	805,240	309,648
非支配株主に帰属する四半期純利益	12,929	14,001
親会社株主に帰属する四半期純利益	792,311	295,647

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月21日 至 2019年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年9月20日)
四半期純利益	805,240	309,648
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,906	15,099
為替換算調整勘定	△6,103	△8,332
持分法適用会社に対する持分相当額	△6,137	△6,134
その他の包括利益合計	△2,334	631
四半期包括利益	802,906	310,280
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	788,996	297,979
非支配株主に係る四半期包括利益	13,909	12,301

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年3月21日 至2019年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年3月21日 至2020年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,166,442	445,150
減価償却費	52,046	72,680
貸倒引当金の増減額(△は減少)	142	△231
受取利息及び受取配当金	△2,767	△2,806
支払利息	162	—
為替差損益(△は益)	358	449
持分法による投資損益(△は益)	11,314	11,617
売上債権の増減額(△は増加)	△338,888	239,942
たな卸資産の増減額(△は増加)	374,933	△105,826
仕入債務の増減額(△は減少)	43,946	43,466
未払金の増減額(△は減少)	△144,009	△108,375
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,515	3,288
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	15,006	15,006
製品保証引当金の増減額(△は減少)	4,102	△11,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	4,410	15,222
未収消費税等の増減額(△は増加)	21,010	△9,253
その他	28,991	△67,924
小計	1,244,716	541,403
利息及び配当金の受取額	2,768	2,808
利息の支払額	△162	—
法人税等の支払額	△358,987	△250,534
営業活動によるキャッシュ・フロー	888,334	293,678
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△40,000	△20,000
定期預金の払戻による収入	40,000	60,000
有形固定資産の取得による支出	△457,216	△17,920
無形固定資産の取得による支出	△8,430	△9,904
投資有価証券の取得による支出	△3,633	△3,755
その他	258	1,295
投資活動によるキャッシュ・フロー	△469,022	9,716
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	600,000	—
リース債務の返済による支出	△927	△927
自己株式の取得による支出	△1,262,047	—
配当金の支払額	△233,701	△240,309
財務活動によるキャッシュ・フロー	△896,676	△241,236
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,795	△4,203
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△481,159	57,954
現金及び現金同等物の期首残高	1,429,767	504,090
現金及び現金同等物の四半期末残高	948,608	562,045

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症について)

当期の連結財務諸表の作成にあたって、新型コロナウイルス感染症が当社グループの業績に与える影響については、新型コロナウイルス感染症の影響を勘案しつつ当期後半から翌期初頭にあたり上向きなるとの仮定に基づき、会計上の見積りを行いました。現時点においては重要な影響を与えるものではないと判断しておりますが、今後の状況の変化によっては、連結財務諸表の作成に影響を与える可能性があります。